







5月8～10日の日程で静岡県伊東市で開催された全国交流集會に参加しました。北海道から沖縄まで123名、中央協・本部から16名の方が、まさしく全国から集まっていました。

「1日目」・中央協「石原」会長挨拶・中央本部から組織内候補「吉川さおり」三選

### 全国交流集會に参加して

5月8～10日の日程で静岡県伊東市で開催された全国交流集會に参加しました。北海道から沖縄まで123名、中央協・本部から16名の方が、まさしく全国から集まっていました。

「1日目」・中央協「石原」会長挨拶・中央本部から組織内候補「吉川さおり」三選

午後からは20人程のグループ6班に分かれ、分散会として各支部協・地区協の活動内容紹介など活発な意見交換が行われた。全体を通じた印象として「参加者は地区協幹事が最も多い」「副会長や事務局次長等の役職も26地域で見られた」「幹事に仕事を割り振っている」など地区協を運営する上で参考となるのではないかと思います。

(記) 西濃地区事務局長・小倉厚司、飛騨地区事務局長・長瀬敬純

第25回参議院選挙は、7月4日公示、21日投票で実施されます。皆さんの手元に、「友情第98号」が届く頃は、文字通り参議院選挙の本番から終盤にさしかかったところかも知れません。改めて今回の参議院選挙の意義について考えてみたいと思います。

良く言われることですが、衆議院選挙が「政権を担う選挙」だとすれば、参議院選挙は「政権に対する中間評価の機会」だと言われています。その意味では、今回の参議院選挙における最大の意義は、現在の安倍政権を国民・有権者がどう評価しているのか、そのことを問うための選挙だと言えることができると思います。

安倍政権は発足後7年目に入っていますが、これは戦後では3番目、戦前も含めると5番目という長期政権になります。こうした長期政権を維持できた背景には、1994年に行なわれた選挙制度改革による「中選挙区・比例代表制」に改められ、選挙は個人から政党本位で行なわれるようになったのです。

私たちは「政権の長さ」や「権力の集中」を問題にしている訳ではありません。そのことによって生み出された「副作用」にこそ、大きな問題があると思っています。例えば、2017年2月に起きた森友学園問題、

生労働省の毎月勤労統計の不正問題があります。このように安倍政権の7年間で振り返って見ると、それは最早「副作用」などではなく、それが安倍・一強政治の持つ「本質」だと断ぜざるを得ません。政治そのものが「危機的状況」にあると言っても過言ではないでしょうか、ということになります。

早々に退陣してもらいたいと思うのですが、野党に対する支持率も依然として低迷を続けており、政治状況を大きく改革することは容易なことではないということもまた事実です。

私たちにできること、それは何と言っても「組織内候補・吉川さおり」の三選を果たすこと、これに尽きると思います。安倍政権の下で進められようとしている強権的な政治に歯止めをかけ、社会保障制度のこれ以上の切り下げや、平和憲法の改悪を許さないためにも、皆さまの力を結集し「吉川さおり」の三選必勝を果たしたいと思えます。会員の皆さま、そして家族の皆様のご支援を心からお願ひ致します。

## 第25回参議院選挙の意義

同様に3月に起きた加計学園問題。これらはいずれも学園の経営者が首相あるいはその周辺に近い関係を持つていたために、何らかの優遇を受けたのではないかと、あるいは官僚が首相の意思を「忖度」したのではないかと、という

ことを問題にしたのです。さらには、2015年の安保関連法案を巡る論議、あるいは2017年の共謀罪関連法案を巡る論議の際など、いずれも十分な議論が行なわれないうまま「強行採決」が行なわれました。多数決も民主主義の手法の一つであること

十分承知をしています。しかし、少数意見にも耳を傾けながら、十分な議論を尽くすといった努力や配慮があつてこそその民主主義だと思ふのです。

そして直近の例では、厚生労働省の毎月勤労統計の不正問題があります。このように安倍政権の7年間で振り返って見ると、それは最早「副作用」などではなく、それが安倍・一強政治の持つ「本質」だと断ぜざるを得ません。政治そのものが「危機的状況」にあると言っても過言ではないでしょうか、ということになります。

早々に退陣してもらいたいと思うのですが、野党に対する支持率も依然として低迷を続けており、政治状況を大きく改革することは容易なことではないということもまた事実です。

私たちにできること、それは何と言っても「組織内候補・吉川さおり」の三選を果たすこと、これに尽きると思います。安倍政権の下で進められようとしている強権的な政治に歯止めをかけ、社会保障制度のこれ以上の切り下げや、平和憲法の改悪を許さないためにも、皆さまの力を結集し「吉川さおり」の三選必勝を果たしたいと思えます。会員の皆さま、そして家族の皆様のご支援を心からお願ひ致します。

### 生涯学習セミナー

(岐阜県退職者連合)

5月14日(火) ワークブラザ岐阜において、生涯学習セミナーが開催された。



退職者の会からは岐阜地区の会員13名が参加。「テーマ」 私たちの暮らしと政治」と題して、日本労働組合総連合会(連合)政治センターの井村事務局長から講演がありました。

地方の現状と課題や地方政治の重要性及び国政の課題として、第25回参議院選挙や消費税率の引上げ・憲法改正などについて勉強しました。

### 働くことを軸とする安心社会の実現へ

第90回岐阜県中央メーデー

格差をなくし、平和を守る！笑顔あふれる未来をつくろう、すべての仲間の連帯で！」をスローガンに、第90回岐阜県中央メーデーが4月26日、JR岐阜駅北口信長ゆめ広場で開かれ、情報労連からは30人(退職者の会12人)が参加した。

統一自治体選挙が行われた関係で、夜間の開催

となった式典では、主催者代表、来賓の挨拶があったあと、震災の復興支援や働く者の「底上げ・底支え」、「格差是正」の実現にむけたメーデー宣言を採択した後、JR岐阜駅名鉄岐阜駅(金公園まで市内をアピール)行進し、労働環境の改善を訴えた。



### 賀寿おめでとーいございます

(2019年4月～6月)(敬称略)

#### 米 寿(88歳)

- 【岐阜】足立 千年 田辺 光雄
- 【西濃】浅野 文子
- 【中濃】秋山 政
- 【東濃】松田りつ子 加藤 鋭一
- 丹羽なつ子
- 【飛騨】岩長 欽二 小笠原昭一

#### 傘 寿(80歳)

- 【岐阜】日比野君子
- 【西濃】矢橋 郁子 山田紀美子
- 【中濃】梅村 輝明 加藤 邁
- 小林 功
- 【東濃】新美 敬子 森谷 清子
- 足立 泰啓 市脇富美子
- 【飛騨】森下 文

#### 喜 寿(77歳)

- 【岐阜】佐野 聡男 永田 利夫
- 田中 正真 安江 英次
- 赤堀 三郎 平光 一夫
- 加藤 一行
- 【西濃】若山 豊光 堅田美津子
- 山田 久江 伊藤美枝子
- 【中濃】岡田久二雄 安藤 寿昭
- 木村 龍男 遠藤 弘子
- 仙石美代子
- 【東濃】西山 誠 西尾 弘之
- 横山満寿夫 市橋 詔二
- 古川 敏勝 岩井 淳二

#### 古 希(70歳)

- 【岐阜】川上 泰明 平田 礼子
- 梅田 卓夫 馬瀬口良平
- 高橋 信次 藤田 正幸
- 西林恵美子 大場 輝善
- 林 時夫 矢島 武夫
- 長良 雅廣 熊田 謙一
- 富田 和夫 棚橋 清
- 【西濃】福永かをる 柳瀬 幹雄
- 奥田 清輝 小野 好子
- 富岡 進 林 信夫
- 【中濃】玉置 好信 柘植 賢一
- 武藤 宣勝 児山 安充
- 伊藤 勝 後藤 友晴
- 久田 常雄 河合 秀子
- 鈴木 竹久 森 美紀子
- 【東濃】土方 敏晴 松葉ミハル
- 宮原 美由 渡辺 忠和
- 栗田 芳明
- 【飛騨】高木 敏則 白川 利夫
- 大沼ななみ 岩山 純二
- 神戸 律子 笹俣 祥路
- 溝脇 芳郎 田尻 光子

#### 会員動静(敬称略)

(2019年4月～6月)

#### 新入会員ご紹介

- 【岐阜】竹中 鉄美
- 【中濃】多治見直樹

#### 訃 報

- 【岐阜】長縄 義夫 佐野 有功
- 今尾 武員
- 【西濃】東 昂
- 【中濃】多治見昭一 餌取 裕子
- 堀部 信子
- 【東濃】安藤つや子

